

※今月のみ受注の書目です。

マクロ経済

はじめて学ぶマクロ経済学



(2025 年 1 月下旬刊行予定)

池野秀弘 (日本大学商学部教授)・木村雄一 (日本大学商学部教授)・
木口武博 (日本大学商学部准教授) [著]

A5 判並製 / 192 頁 税込予価 2,200 円 ISBN978-4-7664-3003-5 C3033

👉 ココに注目!

- ・マクロ経済学の基本をコンパクトに網羅。
- ・経済学を専攻しない学生も学びやすいレベル。
- ・例を用いて理論を丁寧に解説、実際のデータも紹介。

マクロ経済学を初めて学ぶ読者、または経済学部生ではない学習者でも、基本の一つひとつ順を追って学ぶことができる。大学の講義で使われることを想定した章立てであるが、実際の経済統計やインフレ・デフレといった最近のトピックにも触れながら日々の経済を知ることにも役立つ。

対象 学生 (商・経営学部生)、一般 (経済学を一から学びたい層)

類書 平口良司・稲葉大『マクロ経済学 [第3版]』(有斐閣)

【営業部からのおすすめポイント】

「マクロ経済学」は経済学の一分野ではありますが、近年、企業戦略の立案や、消費者行動の分析などにも活用される機会が増えています。また、これまでマクロ経済学を学ぶテキストは翻訳版が定番だったため、日本の状況とは若干の乖離がありました。そういった意味で、初学者を対象とした本書は、経済学を専攻していない専門外の学生、または働き始めてからの学び直し需要にも応える 1 冊です。 (吉川)

👉 **目次、注文書、関連既刊を裏面に掲載! ぜひご確認ください!**

【目次】

はじめに

第1章 マクロ経済学って何だろう？：市場とマクロ経済

第2章 経済を大きくとらえる：GDP と物価

第3章 消費と投資はどうして重要なのか：財市場の分析

第4章 GDP はどう決まるのか

第5章 政府は何をするのか：財政とGDP

第6章 お金はどうして重要なのか：貨幣と利子率

第7章 お金はどこから生まれるのか：貨幣市場

第8章 財市場と貨幣市場を同時に考える：IS-LM 分析

第9章 失業はどうして起こるのか：労働市場

第10章 マクロ経済の全体像をみる：AD-AS 分析

第11章 インフレとデフレ

第12章 開放経済を分析する：為替レートと国際収支

第13章 景気循環・経済成長とは何か

第14章 日本経済を考える：マクロ経済学の応用



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			池野秀弘・木村雄一・木口武博 著 はじめて学ぶマクロ経済学 ISBN978-4-7664-3003-5 C3033	2,200 円	★★★★ ★★★★

★1つで「500部」を表します